

2020年12月期(FY2020)  
第1四半期(4-6月)  
連結決算報告

---



大幸薬品

2020年8月  
大幸薬品株式会社



# 決算期変更による調整について

- 当社グループの75期(2020年12月期)は9ヵ月決算となる※1

## 74期-75期 財務報告数値

	2019年		2020年	
	前期1Q累計		当期1Q累計	
	1-3月	4-6月	1-3月	4-6月
国内法人		74期		75期
海外法人	74期			

- 比較参考として75期と同期間の74期を「調整後数値」(参考※2)とする

## 74期-75期 調整後数値

	2019年		2020年	
	調整後前期1Q累計		当期1Q累計	
	1-3月	4-6月	1-3月	4-6月
国内法人		74期		75期
海外法人				

※1 国内法人(3月決算連結対象)は4-12月の9ヵ月間、海外法人(12月決算連結対象)は1-12月の12ヵ月間  
 1Qは国内法人(3月決算連結対象)は4-6月の3ヵ月間、海外法人(12月決算連結対象)は1-6月の6ヵ月間

※2 74期調整後数値は監査法人による監査は受けておらず参考情報

## ■ FY20 1Q累計増収増益

- ・売上高 : 調整後前年同期比 4,097百万円増
- ・営業利益 : 調整後前年同期比 2,546百万円増
- ・純利益 : 調整後前年同期比 1,731百万円増

## ■ 通期業績予想の上方修正

- ・前回予想比 売上高33%増、営業利益48%増、純利益52%増

## ■ 感染管理事業：生産能力増強を計画

- ・ FY19比年間最大約10倍の生産能力を確保  
(2020年12月以降)

# 連結經營成績

# 連結経営成績

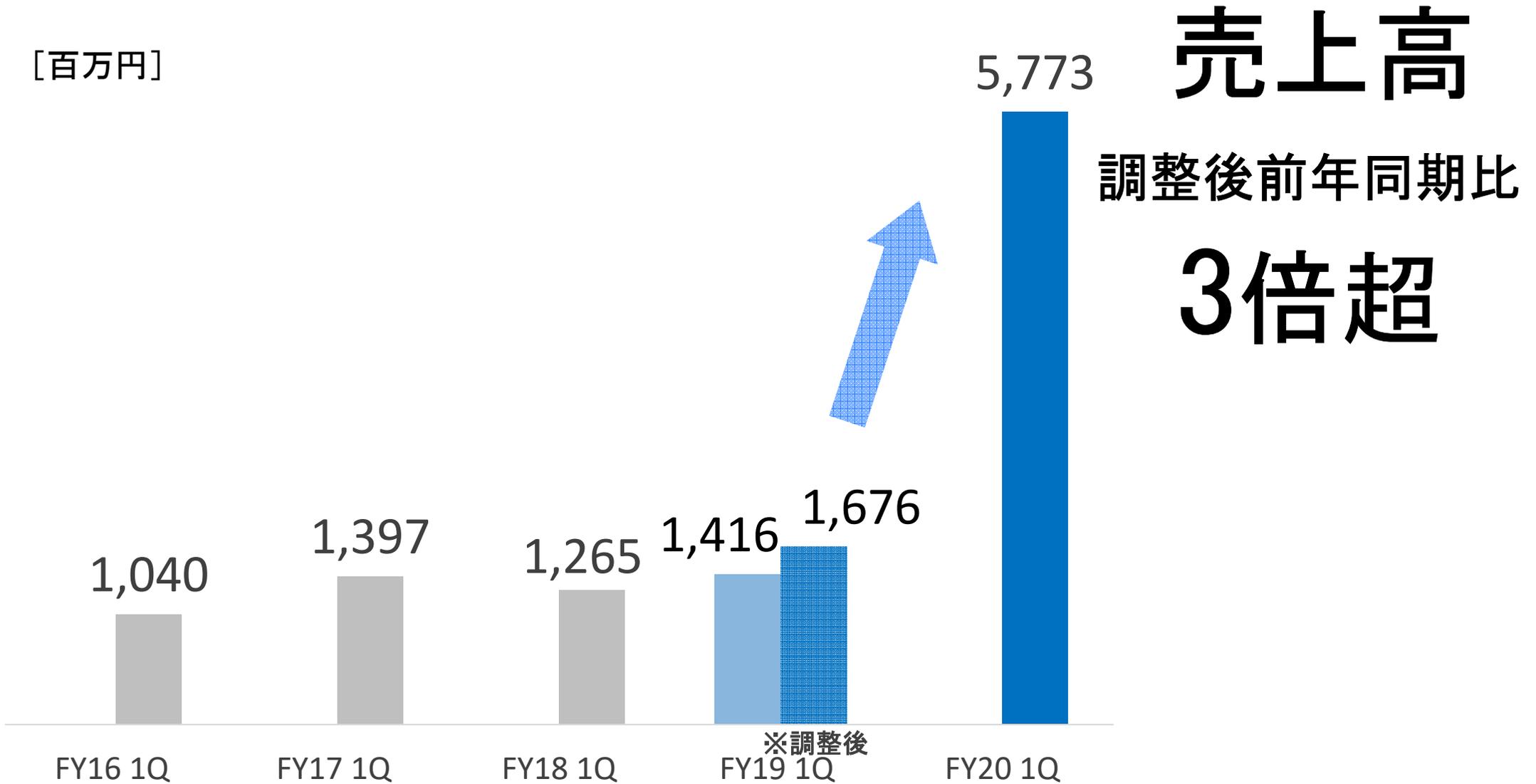
## ➤ 感染管理事業が伸長し大幅増収増益

[百万円]

	FY19	FY19 ①	FY20 ②	調整後前期比 ②-①		調整後前期比 増減要因等
	前期開示数値 1Q累計	調整後前期 1Q累計	当期 1Q累計	増減	増減率	
<b>売上高</b>	1,416	1,676	<b>5,773</b>	4,097	244.4%	医薬)△484、感染)+4,581
<b>売上原価(※)</b> (売上高比率)	392 27.7%	562 33.5%	<b>1,734</b> 30.0%	1,172	208.5%	
<b>売上総利益</b> (売上高比率)	1,024 72.3%	1,114 66.5%	<b>4,039</b> 70.0%	2,925	262.5%	感染管理事業の売上高大幅増加に伴う利益率改善
<b>販管費</b> (売上高比率)	843 59.6%	902 53.9%	<b>1,281</b> 22.2%	379	42.0%	
<b>営業利益</b> (売上高比率)	180 12.8%	211 12.6%	<b>2,757</b> 47.8%	2,546	-	
<b>経常利益</b> (売上高比率)	127 9.0%	164 9.8%	<b>2,702</b> 46.8%	2,537	-	
<b>四半期純利益</b> (売上高比率)	103 7.3%	138 8.3%	<b>1,870</b> 32.4%	1,731	-	

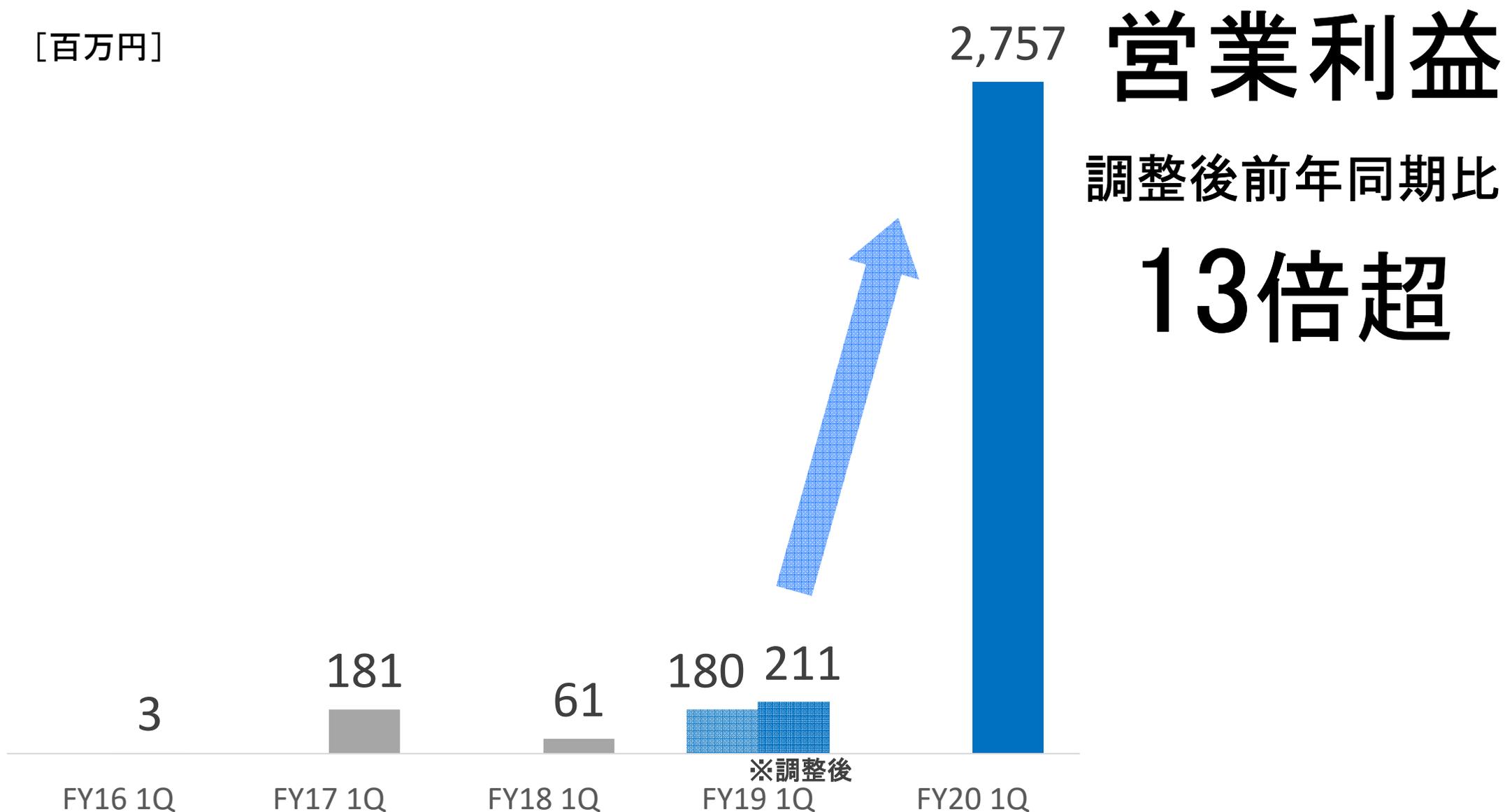
(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

[百万円]



※前期(FY19 1Q)実績を国内3ヵ月間(2019年4-6月)+海外6ヵ月間(2019年1-6月)で計算

[百万円]



※前期(FY19 1Q)実績を国内3ヵ月間(2019年4-6月)+海外6ヵ月間(2019年1-6月)で計算

# 販売費及び一般管理費

➤ 増収影響から販管費比率は低下

[百万円]

	FY19		FY19 ①		FY20 ②		調整後前期比	
	前期開示数値 金額	1Q累計 売上比	調整後前期 金額	1Q累計 売上比	当期 金額	1Q累計 売上比	②-① 増減	②-① 増減率
販売費	216	15.3%	252	15.1%	349	6.0%	96	38.3%
広告宣伝費	99	7.0%	135	8.1%	109	1.9%	△25	△19.0%
販売促進費	75	5.4%	75	4.5%	104	1.8%	29	39.6%
運送費	41	3.0%	42	2.5%	134	2.3%	92	220.2%
人件費	333	23.6%	348	20.8%	430	7.5%	82	23.6%
その他経費	293	20.7%	301	18.0%	501	8.7%	200	66.3%
研究開発費	104	7.4%	104	6.2%	98	1.7%	△6	△6.1%
支払手数料	51	3.6%	51	3.0%	161	2.8%	110	215.7%
計	843	59.6%	902	53.9%	1,281	22.2%	379	42.0%

# 連結財政状態

[百万円]	FY19 期末	FY20 1Q期末	増減	増減率	増減要因等
<b>流動資産</b>	16,584	17,790	1,206	7.3%	
現金及び預金	9,906	8,981	△924	△9.3%	
売上債権	4,419	5,452	1,033	23.4%	売上高増加
たな卸資産	2,025	2,783	758	37.4%	需要増加に備えた増加
<b>固定資産</b>	8,889	9,415	525	5.9%	生産能力増強目的の設備投資等
<b>資産合計</b>	25,473	27,205	1,731	6.8%	
<b>流動負債</b>	4,794	5,221	426	8.9%	
仕入債務	1,005	1,889	883	87.9%	増産に伴う原材料資材等調達による増加
<b>固定負債</b>	1,305	1,314	9	0.7%	
<b>純資産</b>	19,373	20,669	1,295	6.7%	四半期純利益の計上等
<b>負債純資産合計</b>	25,473	27,205	1,731	6.8%	
<b>自己資本比率</b>	76.0%	75.9%			

# セグメント情報

# セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 国内外とも売上高減少
- 感染管理事業: 大幅増収増益

[百万円]	売上高			セグメント損益		
	FY19 調整後前期 1Q累計	FY20 当期 1Q累計	増減率	FY19 調整後前期 1Q累計	FY20 当期 1Q累計	増減率
医薬品事業 (利益率)	1,497	1,013	△32.3%	523 35.0%	425 42.0%	△18.8%
感染管理事業 (利益率)	176	4,757	—	△90 —	2,670 56.1%	—
その他事業 (利益率)	2	2	△3.2%	△6 —	△7 —	—
全社(※)	—	—	—	△215	△331	—
連結合計 (利益率)	1,676	5,773	244.4%	211 12.6%	2,757 47.8%	—

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

# セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

▶ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う消費者の外出自粛  
インバウンド需要の激減により低調に推移

## 製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY19 調整後前期 1Q累計	FY20 当期 1Q累計	増減	増減率
正露丸	458	345	△113	△24.7%
セイロガン糖衣A	518	461	△57	△11.1%
正露丸クイックC	22	15	△6	△30.2%
その他(※)	31	13	△17	△55.9%
計	1,030	835	△194	△18.9%

(※) 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」等

[店頭小売価格ベース]

	FY19 実績	FY20 実績	増減
止瀉薬市場シェア	47.0%	51.2%	+4.2P



正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC



ピシヤット下痢止めOD錠

出所：(株)インテージ

# セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

➤ 国内と同様、消費者の外出自粛等の影響を受け低調に推移

## 地域別売上高

[百万円]

	FY19 調整後前期 1Q累計	FY20 当期 1Q累計	増減	増減率
中国	—	—	—	—
香港	386	132	△254	△65.8%
台湾	55	33	△22	△40.4%
その他(※)	24	12	△11	△48.0%
計	466	178	△288	△61.8%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴル

# セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 消費者の衛生管理意識は継続して高い水準
- 置き型中心にスティックも需要増加、前期発売「クレベ&アンド」も好調

## 製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY19 調整後前期 1Q累計	FY20 当期 1Q累計	増減	増減率
クレベリン(※1)	176	4,096	3,920	-
クレベ&アンド(※2)	-	661	661	-
計	176	4,757	4,581	-

(※1)クレベリン 置き型、クレベリン スティック、クレベリンカートリッジ(車両用)  
低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

(※2)ハンドスプレー、ハンドジェル、ウイルス・菌除去スプレー(キッチン用)

## 対象顧客別売上高

[百万円]

	FY19 調整後前期 1Q累計	構成比	FY20 当期 1Q累計	構成比	増減	増減率
国内:一般用	23	13.2%	3,839	80.7%	3,816	-
国内:業務用	139	79.3%	630	13.2%	490	351.2%
海外	13	7.5%	287	6.0%	274	-
計	176	100.0%	4,757	100.0%	4,581	-

### クレベリン



Akihiro Yoshida

クレベリン 置き型

クレベリン スプレー



**DENSO**

Akihiro Yoshida

クレベリンカートリッジ  
(車両用)

クレベリン スティック

### クレベ&アンド



ハンドスプレー

ハンドジェル

ウイルス・菌除去  
スプレー  
(キッチン用)

# 通期業績予想の修正

# FY20通期業績予想(9ヵ月決算)の修正

- 1Q累計の好調な業績動向を踏まえ上方修正
- 配当予想は前回予想を据え置き、業績動向を踏まえ今後検討

[百万円]	FY20 前回予想 12月期通期	FY20 今回予想 12月期通期	増減	増減率	増減要因等
売上高	13,500	18,000	4,500	33.3%	
医薬品	4,850	3,500	△1,350	△27.8%	消費者の外出自粛等により、国内外共に低調に推移すると予想
感染管理	8,645	14,500	5,855	67.7%	消費者の衛生管理意識が高い水準が継続し、需要増加を予想
営業利益 (売上高比率)	3,700 27.4%	5,500 30.6%	1,800	48.6%	
経常利益 (売上高比率)	3,500 25.9%	5,300 29.4%	1,800	51.4%	
当期純利益 (売上高比率)	2,500 18.5%	3,800 21.1%	1,300	52.0%	

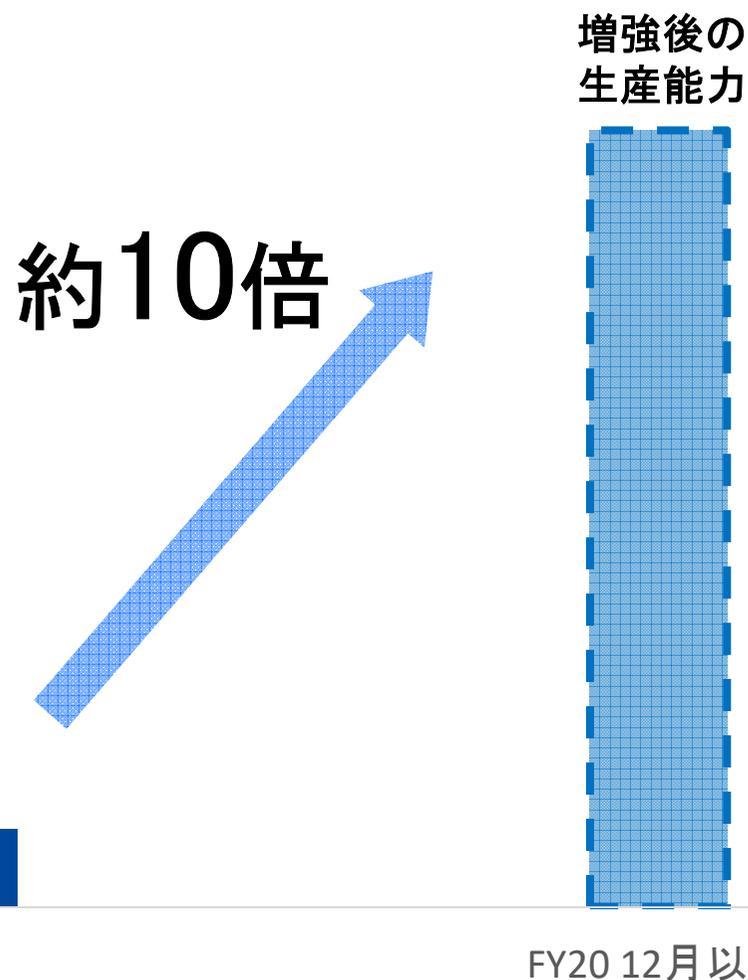
※ 業績の動向に重要な影響が見込まれる場合には、速やかに業績予想の見直しを行います。

# 感染管理事業：製品需要拡大に伴う 生産能力増強施策

# 感染管理事業：生産能力増強（クレベリン置き型）

- 主力のクレベリン置き型の生産能力増強を計画
- 増産により今後の需要拡大に備える

## ■クレベリン置き型の生産能力増強イメージ



新工場※稼働により  
FY19比

最大約10倍  
の生産能力を確保

※大阪府茨木市に計画中的の新工場



クレベリン 置き型



# 大幸薬品

## ＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証するものではありません。